

# 認 定 書

国住指第 3209 号  
平成 15 年 12 月 24 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 出口 健 様

国土交通大臣 石原 伸晃

下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-0160
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
給・排水管・ケーブル/モルタル・合成ゴム・カーボン混入ガラス質材・膨張材充てん/床耐火構造/貫通部分(中空床を除く)
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

## 1. 構造名

給・排水管・ケーブル／モルタル・合成ゴム・カーボン混入ガラス質材・膨張材充てん／床耐火構造／  
貫通部分（中空床を除く）

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	・形状：矩形、面積：0.0417 m <sup>2</sup> 以下
占 積 率 (開口面積に対する給・排水管・ ケーブル断面積の総合計の割合)	35.99%以下
貫通する床の構造等	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ALC ・厚さ 100 以上 (2)コンクリート ・厚さ 100 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目		申請構造		
給 ・ 排 水 管	さや管・ 楕円さや管	外径	42.0 以下 (楕円さや管は 40.0 以下×27.0 以下)	
		厚さ	2.0 以下	
		架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, 6787
			外径	34.0 以下
		ポリプロピレン管	厚さ	4.0 以下
			外径	34.0 以下
	ポリブテン管	厚さ	4.0 以下	
		規格	JIS K 6778, 6792	
	アルミニウム蒸着 PETフィルム巻き ペア架橋ポリエチレン管	外径	34.0 以下	
		厚さ	3.2 以下	
	アルミニウム蒸着 PETフィルム巻き ペアポリブテン管	外径	27.0 以下 (13.0 以下の架橋ポリエチレン管をペアにしたものに厚 0.5 以下アルミニウム蒸着 PET フィルム巻き、制御用ケーブル(外径 4.0 以下、導体総面積 1.5mm <sup>2</sup> 以下) 付属)	
		厚さ	1.8 以下	
	アルミニウム蒸着 PETフィルム巻き ペアポリブテン管	外径	27.0 以下 (13.0 以下のポリブテン管をペアにしたものに厚 0.5 以下アルミニウム蒸着 PET フィルム巻き、制御用ケーブル(外径 4.0 以下、導体総面積 1.5mm <sup>2</sup> 以下) 付属)	
		厚さ	2.3 以下	
	ペアさや管付	ペアさや管仕様	外径	57.0 以下×28.0 以下
		架橋ポリエチレン管	厚さ	2.0 以下
			規格	JIS K 6769, 6787
		架橋ポリエチレン管	外径	17.0 以下 (制御用ケーブル(外径 4.0 以下、導体総面積 1.5mm <sup>2</sup> 以下) 付属)
			厚さ	2.3 以下
		ポリプロピレン管	外径	17.0 以下 (制御用ケーブル(外径 4.0 以下、導体総面積 1.5mm <sup>2</sup> 以下) 付属)
	厚さ		2.3 以下	
ポリブテン管	規格	JIS K 6778, 6792		
	外径	17.0 以下 (制御用ケーブル(外径 4.0 以下、導体総面積 1.5mm <sup>2</sup> 以下) 付属)		
ポリブテン管	厚さ	2.3 以下		
	架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, 6787	
架橋ポリエチレン管		外径	34.0 以下	
	架橋ポリエチレン管	厚さ	4.0 以下	
ポリプロピレン管		外径	34.0 以下	
	ポリプロピレン管	厚さ	4.0 以下	
ポリブテン管		規格	JIS K 6778, 6792	
	ポリブテン管	外径	34.0 以下	
ポリブテン管		厚さ	3.2 以下	
	金属強化 ポリエチレン管	外径	32.0 以下	
厚さ		3.1 以下		
硬質塩化ビニル管	規格	JIS K 6741, 6742, 6776		
	外径	38.0 以下		
硬質塩化ビニル管	厚さ	3.9 以下		

(寸法単位：mm)

項目		申請構造			
給・排水管	被覆材付	被覆材仕様		被覆材イ)～リ)のうち、いずれか一仕様とする イ)ポリエチレンフォーム 規格：JIS A 9511 ロ)ポリプロピレンフォーム ハ)難燃ポリオレフィンフォーム ニ)ポリスチレンフォーム 規格：JIS A 9511 ホ)硬質ウレタンフォーム 規格：JIS A 9511 ヘ)フェノールフォーム 規格：JIS A 9511 ト)合成ゴム系フォーム (ニトリルゴム、スチレンゴム、クロロプレンゴム、エチレンプロピレンゴム) チ)グラスウール 規格：JIS A 9504 リ)ロックウール 規格：JIS A 9504	
		被覆架橋ポリエチレン管	規格*1		JIS K 6769, 6787
		被覆架橋ポリエチレン管	外径		27.0 以下
			管被覆 厚さ		3.5 以下 10.0 以下
		被覆ポリプロピレン管	外径		27 以下
被覆ポリプロピレン管	管被覆 厚さ	3.5 以下 10.0 以下			
	規格*1	JIS K 6778, 6792			
被覆金属強化ポリエチレン管	外径	27.0 以下			
	管被覆 厚さ	3.1 以下 10.0 以下			
ケーブル	さや管付 楕円さや管付	規格	JIS C 3605, 3606, 3307, 3401, 3342, 3312		
		外径	25.0 以下 円形：25.0 以下 平形：断面積 491mm <sup>2</sup> 以下		
		導体の総断面積	114mm <sup>2</sup> 以下 (1本あたり)		
	ヘアさや管付	規格	JIS C 3605, 3606, 3307, 3401, 3342, 3312		
		外径 導体の総断面積	4.0 以下 1.5mm <sup>2</sup> 以下 (1本あたり)		
防火措置材料	耐熱シールシート材 合成ゴム・カーボン 混入ガラス質材・ 膨張材*2	密度	1.3g/cm <sup>3</sup>		
		組成 (質量%)			
		貼付材 貼付材厚さ	片面アルミニウムテープ 0.2 以下		
	充てん材	材質 使用量	モルタル 充てん高さ 100 以上		

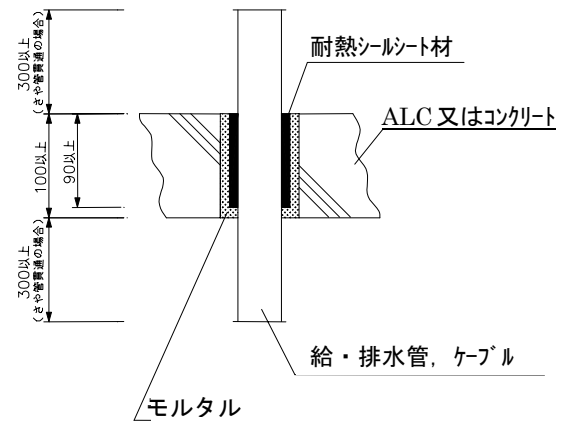
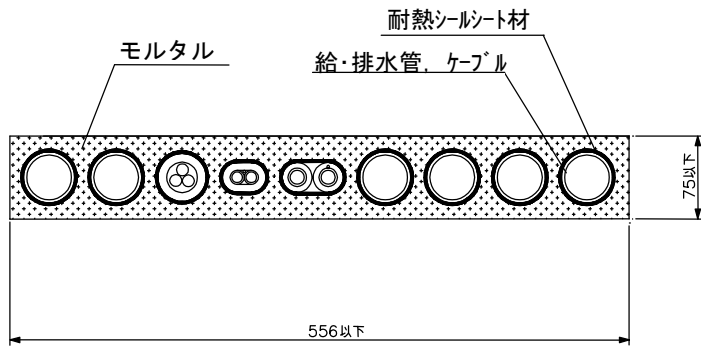
\*1：被覆を除く素管の規格を示す。

\*2：合成ゴム・カーボン混入ガラス質材・膨張材；以下、「耐熱シールシート材」という。

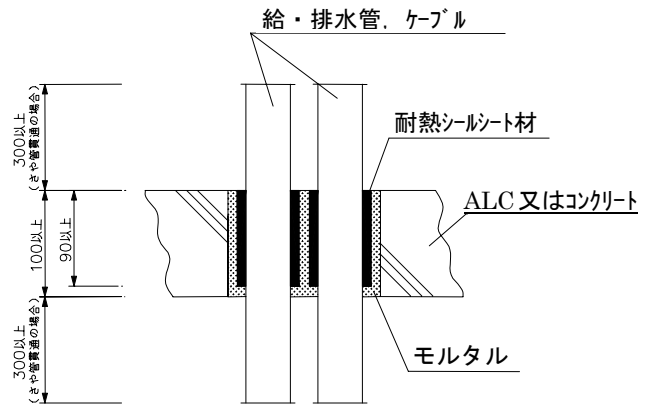
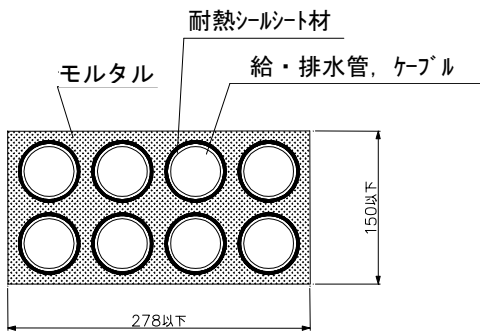
注) 申請構造は工法の違いにより、全ての給・排水管の組合せを含むものとする。

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

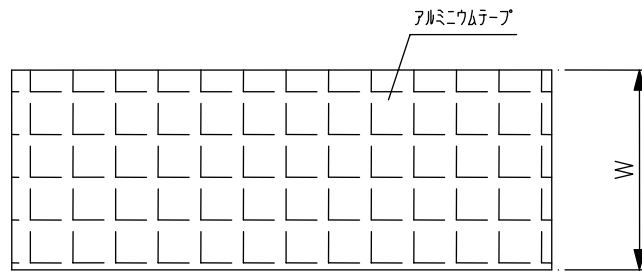


側断面図

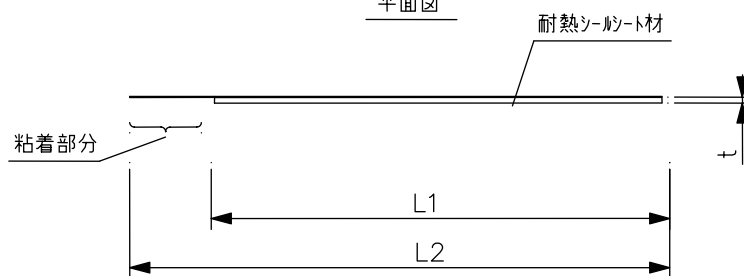


側断面図

・ 耐熱シールシート材



平面図



断面図

呼び径	L1	L2	W	t	適用配管
28 N	120 以下	170 以下	90 以上	2.3 以上	φ28 以下
48 N	175 以下	235 以下	90 以上	2.3 以上	φ48 以下

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(別添-4)

## 5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

### ① 貫通開口部の設定

配管サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

### ② 配管の設置

配管の設置を行い、支持・固定する。

### ③ 耐熱シールシート材の巻き付け

耐熱シールシート材を配管に対して巻き付けてアルミニウムテープ部分を貼付けて固定する。

この時、耐熱シールシート材と配管との間の隙間が無いように注意し確認する。

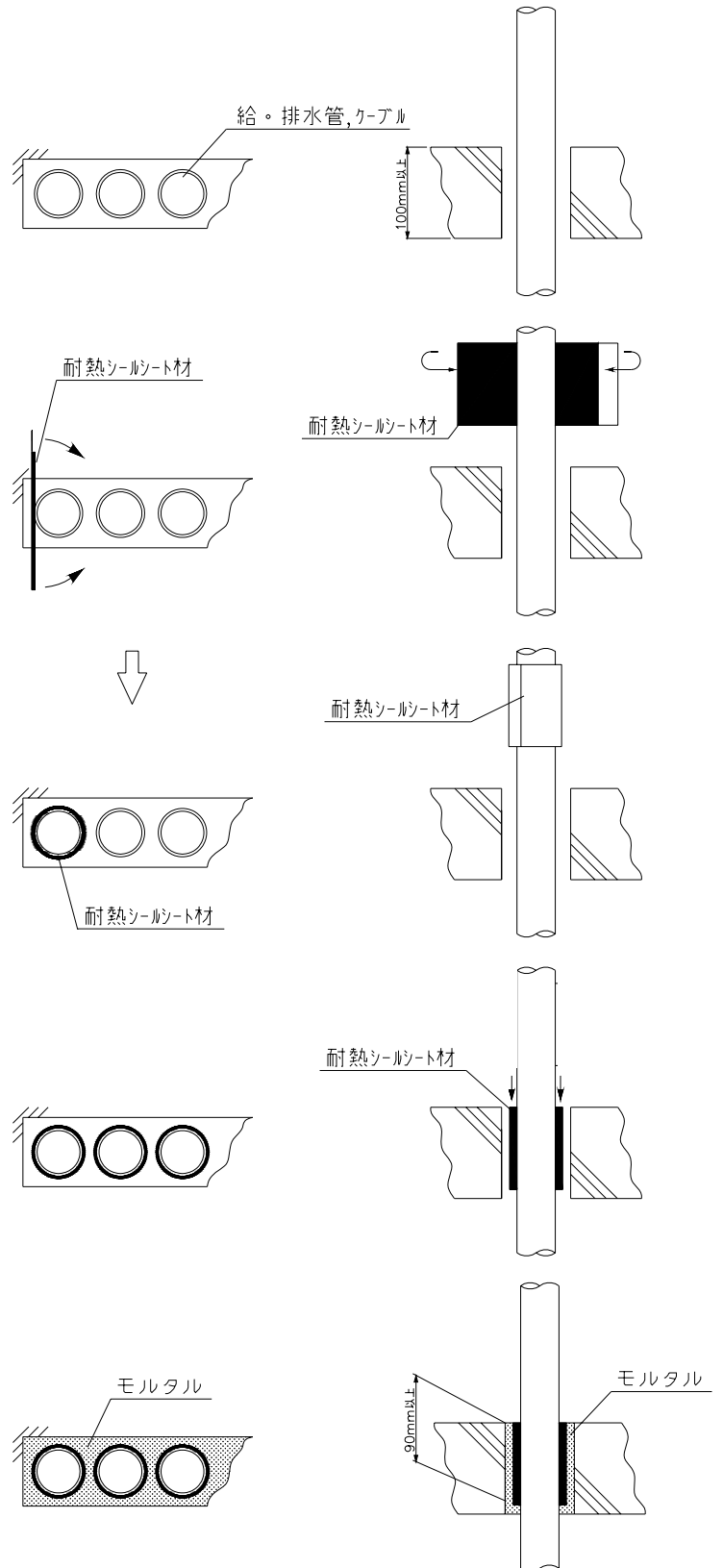
### ④ 耐熱シールシート材のスライド

耐熱シールシート材を配管に沿わせて耐熱シールシート材の先端が床面と同一面に納まるようにスライドさせる。

### ⑤ 埋め戻し

貫通開口部と耐熱シールシート材の隙間に、充てん高さ 100mm 以上をモルタル埋め戻しする。

埋め戻し部に隙間が無い事を確認して仕上げる。



施工図（手順）